

製品名: MC5-R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13700**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	MC5R
別名	MC5R; Melanocortin receptor 5; MC5-R; MC-2
遺伝子 ID	4161.0
SwissProt ID	P33032
免疫原	抗血清はヒト MC5R 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 271-320

背景

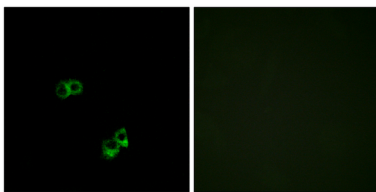
この遺伝子は、cAMP シグナル伝達を刺激する 7 回膜貫通型 G タンパク質共役型メラノコルチン受容体タンパク質ファミリーのメンバーをコードしています。このタンパク質は、メラノサイト刺激ホルモン（MSH）および副腎皮質刺激ホルモン（ACTH）の受容体

であり、皮脂生成に関与していると考えられています。[RefSeq 提供、2010年6月],機能: MSH (α 、 β 、 γ) および ACTH の受容体。この受容体の活性は、アデニル酸シクラーゼを活性化する G タンパク質によって媒介されます。この受容体は、メラノコルチンの免疫調節特性の媒介因子である可能性があります。 ,オンライン情報: メラノコルチン受容体エントリ,類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属する。 ,組織特異性: 脳では発現するが、メラノーマ細胞では発現しない。 ,

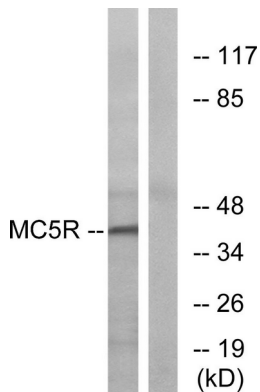
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

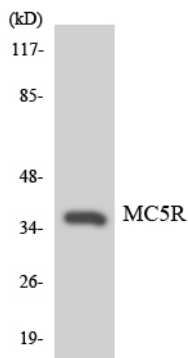
画像データ



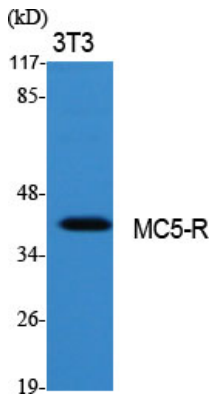
MC5R 抗体を用いた MCF7 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



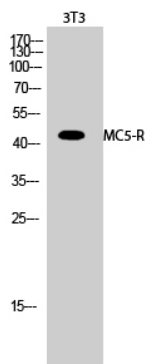
MC5R 抗体を用いた K562 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



MC5R 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



MC5-R ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



MC5-R ポリクローナル抗体を用いた 3T3 細胞のウェスタンブロット解析